

市政改革

4年の

実績

平成18年度から21年度までの4年間、市は「市政改革プログラム」に取り組んできました。これは、市民満足度の向上のため、仕事を見直し、より良くしていくためのものです。平成21年度が最終計画年にあたるため、これまで取り組んできた4年間の実績を5つのポイントごとにお知らせします。

※金額は1万円未満を四捨五入しています

問 政策推進課 ☎ 52 | 2115

財政運営の健全化

厳しい財政状況の下、収入を増やし、支出を減らすことができるように取り組みました。

■財政運営の健全化

項目	目標	実績
経常収支比率	80%以下	84.8% 2億7,396万円削減
実質公債費比率	18%未満	16.5%
事務事業の統廃合	毎年度10事業程度削減	69事務事業、6,424万円を削減
市単独の経常的な補助金	18年度比で10%削減	10.3%、1,521万円削減
負担金	毎年度1%削減	21年度は2.6%、107万円を削減。ただし18年度比では2.0%、79万円の増

※経常的経費…人件費や借金の返済など市が毎年続けて支払うお金
 ※経常収支比率…自由に使える市のお金のうち、経常的経費が占める割合
 ※実質公債費比率…自由に使える市のお金のうち、借金の返済分が占める割合

■施設や市有地など

- ▶ **公共施設の見直し**…【廃止】北限閣、麦生児童館、小国児童館、繫保育園、麦生小中学校、霜畑中学校、枝成沢小学校【民間に譲渡】侍浜保育園、侍浜地区デイサービスセンター
- ▶ **指定管理者の見直し**…71施設を再指定しました。指定管理施設の総数は76施設です
- ▶ **市有地や施設の有効活用**…①土地の売却9件/6,997万円②施設の売却1件/600万円③土地の貸付1件/年7万円④施設の貸付1件/年26万円

■税や使用料・手数料など

- ▶ **使用料・手数料等の見直し**…平成20年度に税負担と受益者負担の均衡を図るため、使用料等を見直しました
- ▶ **税・使用料等収納対策の推進**…①県地方税特別滞納整理機構に3年間で92人の案件を移管しました②催告書の送付を強化しました③公売を3年間で32件実施し、計167万円を売却しました

効率的な組織づくり

職員を減らしながら、仕事を効率的に行える組織づくりに取り組みました。

■職員数や組織など

- ▶ **職員数の縮減**…平成17年4月1日と比較し、平成22年4月1日は39人(9.2%)を縮減
- ▶ **組織を変更**…仕事を効果的・効率的に行うため組織を変更しました【新設】生活環境課、子育て支援課、地域包括支援センター、交流促進課など【廃止】合併時などに特定課題を担当するために設けた9担当課長を廃止【見直し】市民課、子育て支援課、山形福祉室、土木課、下水道課など

■広域連携の推進

- ▶ **久慈広域連合の統合**…久慈広域行政事務組合を久慈広域連合に統合。負担金も見直し、1,280万円を節減しました
- ▶ **広域市町村との情報交換**…久慈広域行政研究会を設立し、広域で連携しながら共同実施する事業について情報交換を進めました
- ▶ **久慈広域行政研究会**…管内4市町村長による効率的・効果的な行政サービスの研究を行いました。「雇用機会の拡大に関する協定書」に調印するなど広域による雇用促進に取り組みました

市民との協働の推進

市民と協力し、協働のまちづくりを進めました。

■市民との協働

- ▶ **地域コミュニティ振興事業**…121件の地域づくり活動などに、計6,631万円を交付しました
- ▶ **情報発信**…まちづくり講演会を開催したほか、情報紙まちづくり通信を発行しました
- ▶ **市民協働道路維持補修事業**…1,732万円の事業費で39地区のU字溝の据え付けなどを行いました

行政の透明性の向上

市民にさまざまな情報を伝え、市民の意見を反映させられるように取り組みました。

■広聴広報活動

- ▶ **市政懇談会**…毎年11会場で開催し、1,931人が参加。いただいた提言680件のうち主なものへの市の対応を公表しました
- ▶ **市長への手紙**…175通、232件の提言をいただき、主な提言への市の対応を公表しました
- ▶ **市長室の開放**…30組(48人)から69項目の提言をいただき、市長と意見交換を行いました
- ▶ **財政状況などの公表**…平成19年度に公会計制度の調査・研究に取り組み、20年度に普通会計の財務諸表を公表。21年度にすべての会計にわたる連結財務諸表を作成し、公表しました

行政サービスの向上

利用しやすいよう、サービス向上に取り組みました。

■窓口業務など

- ▶ **窓口業務の延長**…証明書発行窓口などで毎週月曜日(原則)に時間延長を行いました
- ▶ **臨時窓口の開設**…平成19年度から年度末と翌年度の初めに実施(平成20年度は年末も実施)し、延べ7日で423人の利用がありました
- ▶ **窓口の配置改善**…市民課の窓口、カウンターなどの配置を利用しやすいように改善しました
- ▶ **関係団体と共催事業**…介護予防事業について関係団体と共催し一体的に取り組みました

その他の取り組み よりよい仕事をするために全施策(28)と全事務事業(789)について行政評価を行い、チェックしました

改革は続く

国から配分される地方交付税などが削減され、収入が減った久慈市は、より効率的に良い仕事を続けていくため市政改革に踏み出しました。

平成18〜21年度の4年間、市は皆さんの協力をいただきながら、お金の施設、組織などをより有効に、効率的に使えるよう取り組んできました。

仕事の効率化を図り、事業費を削減。組織も変更し、職員数を39人縮減して人件費も抑制しました。今後よりよい行政サービスを目指し、仕事の改善・改革に取り組んでまいりますので、市民の皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

市政改革プログラムの詳しい内容は、市ホームページに掲載しているほか、山形総合支所や各支所、各地区公民館などに資料を備え付けてあります。どうぞご覧ください。